

地域活性化に海保が協力 新名物「みなと塩竈海保カレー」

塩竈商工会議所が宮城海上保安部の協力のもと「みなと塩竈海保カレープロジェクト」を発足しました。

海上保安部では、船が入港する日の昼食時にカレーが提供されます。カレーは、それぞれの船の調理担当者が、代々引き継いできた伝統のレシピをもとに作られています。

このプロジェクトでは、海上保安協会を通じて、それらのレシピが贈呈され、塩竈港に停泊する「まつしま」や「くりこま」の3隻の巡視船の名前がついたカレーを塩竈の新名物として、市内飲食店で提供します。海上保安協会の谷田一夫さんは「海上保安庁発足当時から、



▲シーフードカレー「巡視船まつしま」



▲横田善光さん(左)、谷田一夫さん(右)



問 塩竈商工会議所 ☎367-5111

塩竈みなと祭で熱くなる7月、新名物「みなと塩竈海保カレー」でさらに熱い夏にしませんか。

現在、参加店の募集が始まっております。7月中旬から「みなと塩竈海保カレー」を食べられる予定です。

塩竈商工会議所みなと塩竈海保カレープロジェクトの横田善光さんは「観光に来た方はもちろん、市内にお住まいの皆さんにも食べてもらいたい」と意気込みました。

塩竈に海上保安部が設置されています。このプロジェクトで、皆さんに海保の業務をもっと知ってもらいたいと話しました。

しおがまの昔・懐かし

思い 出写真館 ②

昭和45年6月の本町で撮影されたお中元大売り出しの様子の写真を紹介します。提供者の佐々木昇悦さんから当時のお話を伺いました。

朝の8時くらいに撮った写真です。6月末とはいえ朝はまだ肌寒く、厚着をしている人もいました。このお店は衣料品を扱っていたお店で、開店の後の売り場は人で溢れ返っていましたね。既製品の服が普通になって10年くらい経っていました。まだ自分で服を作る人も多かった時代です。お中元用だけでなく、自分や家族用の洋服生地や呉服を目当てに並ぶ人も中にはいらっしゃったのではないのでしょうか。



(写真提供：佐々木昇悦さん)



◀現在この場所は駐車場になっており、約50年で大きく様子が変わっています。

主に昭和40年代から平成10年ごろまでの塩竈の写真を募集します。詳しくは市ホームページをご覧ください。政策課市政情報係(☎355-5728)まで問い合わせください。

宗旨宗派不問
つどいの地

仙塩丘の上霊園

樹木葬墓地

料金形態
永代使用料及び管理料
1名 **50万円(税別)**

※生前のお申込み2名様の場合は70万円(税別)以降1名様ごとに15万円(税別)となっております。
※永代使用料には、プレート料・彫刻料・納骨料が含まれております。

—— ご契約後の管理料は一切必要がないので安心です。 ——

宮城県塩竈市
向ヶ丘25番9号

塩竈市月見ヶ丘
霊園向い側

生前予約承ります

お問い合わせ ☎022-762-8656

ご相談・お見積り無料

樹木葬生前予約分譲開始
※指定石材店は志賀石材店です

仙塩丘の上霊園 検索

※写真はイメージです。

「広報しおがま」は、22,800部製作し、1部当たりの経費(印刷・発送)は72円です。

塩竈市は、自主財源を確保するため「広報しおがま」に有料広告を掲載しています。

